

# 言語聴覚士学科（昼間２年制）

## 養成目的

医療・福祉分野で重要な役割を担う言語聴覚士を養成することを目的として設置している。医学知識に加えて、言語・聴覚・音声・心理など人間のコミュニケーションに関するさまざまな知識・技術を身につけると共に、医療福祉領域におけるチーム・アプローチの重要性を認識し、専門職の一人としての協調性、及び独自性を備えた人材の育成を目標とする。

## 学年(学期)目標

学年	到達目標
1 年前期	知識：基礎医学（解剖・生理・内科学・病理学）の知識を修得する。 態度：言語聴覚士としての規範、マナーを学習する。 技能：言語聴覚士の業務（役割と責任）を学習する。
1 年後期	知識：言語聴覚療法の様々な領域の知識を修得する。 態度：対象者や保護者に対する対応の仕方を修得する。 技能：言語聴覚療法に必要な評価方法の基本的技術を修得する。
2 年前期	知識：言語聴覚療法全般の知識を習得し、国家試験レベルの問題の6割が解ける。 態度：謙虚な姿勢で患者様、多職種に関わり良好な関係を築く。 技能：言語聴覚療法全般（評価、問題点の抽出、指導目標の設定、訓練、再評価）を体験し、実践できる。
2 年後期	知識：言語聴覚士国家試験に合格できる知識を修得する。 態度：言語聴覚士としての向上心・探求心をもち、自己研鑽ができる。 技能：エビデンスに根差した思考や自ら考え行動できる臨床力を体現できる。

## 取得目標資格

言語聴覚士（国家資格）（卒業時に受験資格取得）

## 就職分野

病院（リハビリテーション科、耳鼻咽喉科など）、リハビリテーション関係施設、クリニック、老人保健施設  
児童通園施設（肢体不自由、知的障害）など

## 職 種

言語聴覚士